

燕市森林整備推進プラン（素案）に対するパブリックコメントで寄せられた意見とそれに対する市の考え方

1. 意見の募集期間

令和7年12月5日（金）～令和7年12月26日（金）

2. 意見の提出

人数4人、件数4件

3. 意見の内容と市の考え方

以下の表のとおり

No.	記載箇所	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	計画修正の有無
1	全体	記述されているように燕市では約 6%とごく限られた地域の事案です。整備して恩恵があるのは、当該地区に隣接する住民と自治地域なので費用は全額当該地区で賄うようにしてください。	森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止、国土の保全、水源の涵養等、多岐に渡り、国民に広く恩恵を与えるものであると考えています。森林整備に対して森林環境譲与税を使用することは制度の趣旨に沿った運用ですので、ご理解いただきたいと思えます。	無
2	全体	道路沿いの並木は植えてほしくないです。 左右を確認するとき並木が邪魔で見えないことがあります。植えるなら一時停止線を並木より一つ奥にするか、カーブミラーを設置して欲しいです。	本計画策定の目的としては森林環境譲与税を活用した森林整備を推進していくためにどこから森林整備を進めていくかを定めることにあります。植栽の方法について定める計画ではありませんので、計画に反映することはできませんが、貴重なご意見として受け止めます。	無
3	全体	森林整備により排出される木材等の出口利用について特段の記述が見当たらず、「生産は行われていない」とのことですが、エネルギー資源としての活用（バイオマス燃料として熱利用を図る等）の余地が無いか伺いたいです。	本計画策定の目的としては森林環境譲与税を活用した森林整備を推進していくためにどこから森林整備を進めていくかを定めることにあります。出口利用について定める計画ではありませんので、計画に反映することはしません。	無
4	全体	・基本方針（4P）の基本方針の中、2番目に「観光」とあるが具体的な内容が記載されていない ・優先順位1位の長辰②は至極妥当な順位と考	本計画策定の目的としては森林環境譲与税を活用した森林整備を推進していくためにどこから森林整備を進めていくか	無

No.	記載箇所	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	計画修正の有無
		<p>える</p> <p>～そこで長辰②についての提言・・・～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国上山（弥彦、角田山塊を含む）の最大と特徴と他者へのセールスポイントは「他の地域には無い多様な植物相」にあると考える ・ 整備対象の具体的な場所 <ul style="list-style-type: none"> 1_松沢の滝までを整備し遊歩道化 2_キャンプ場脇に位置する、石井家墓所の小山を整備し展望のきく遊歩道化 ・ 整備方法 <ul style="list-style-type: none"> 1_の地域 <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉の大径木（胸高直径 50 cm 以上）を残し伐採→搬出もしくは切り置き残置 ・ 出来るだけ天然下種更新を計る一法面上部にコナラ有り→針広混交林化 ・ 植栽する場合は郷土種に限る、桜やブナは行わない＝谷筋で陽樹は厳しい ・ 下記の景観種、希少種、絶滅危惧種を植栽（出来ればイベント化）＝採種→育苗→植栽 2_の地域 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小山上部山頂付近、石井家の歴代墓所有 ・ 山頂部の林床にはアカガシの落ち葉が分厚く 	<p>を定めることにあります。一つひとつの施業箇所の具体的な施業方法について定める計画ではありませんので、計画に反映することはしませんが、貴重なご意見として受け止め、今後の森林整備を進めていきます。</p>	

No.	記載箇所	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	計画修正の有無
		<p>堆積し、除草はされている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手まりの湯側にアカガシの大木（株立状態 15本前後）、広葉樹なので土砂崩れの危険は針葉樹より少ないが注意を要すると思われる ・遊歩道を整備すれば、越後平野と守門岳、遠く越後三山を見渡せるビューポイントとなる ・樹木の植栽には桜、モミジなど景観（集客）植物を選定、もしくはヤマボウシやタムシバ、コブシ、エゴノキ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、ウワミズザクラなども有望 ・下記の景観種、希少種、絶滅危惧種を植栽（出来ればイベント化）＝採種→育苗→植栽 <p>3_景観植物と希少植物、及び新潟県レッドリストに上げられている草本類及び木本類</p> <p>● 草本類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オオミスミソウ. ・コシノコバイモ ・キンラン ・エビネ ・キクバオウレン ・ショウジョウバカマ ・キクザキイチゲ ・シュンラン 		

No.	記載箇所	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	計画修正の有無
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ミチノクエンゴサク ・ エンレイソウ ・ イチリンソウ ・ イワウチワ ・ カタクリ など ● 木本類 ・ マルバマンサク ・ オオカメノキ ・ ケナシヤブデマリ ・ ガマズミ ・ ミヤマガマズミ ・ ケキブシ ・ オクチョウジザクラ ・ オオヤマザクラ ・ カスミザクラ ・ ツノハシバミ ・ エゴノキ ・ オオバクロモジ ・ ケアブラチャン ・ タムシバ ・ キタコブシ ・ アズキナシ ・ ナナカマド ・ ヤマボウシ 		

No.	記載箇所	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	計画修正の有無
		<ul style="list-style-type: none"> ・ガクウラジロヨウラク ・ヤマツツジ ・ナツツバキ ・ヤブツバキ ・ナツツバキ ・アカガシ ・ブナ ・ツクバネ ・ウリハダカエデ ・ハウリワカエデ ・ヤマモミジ ・コハウチワカエデ など 		

（３） 燕市森林整備推進プラン策定委員会での意見等

第3回燕市森林整備推進プラン策定委員会（書面会議）開催

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
1	4 ページ 3 基本方針 ≪方針1≫ 5 ページ 3 基本方針 ≪方針2≫	補足の文章を記載検討ください。	以下の下線部分を加筆修正しました。 4 ページ 3 基本方針 ≪方針1≫：安全を重視 燕市における森林は、市の総面積のわず か6%ほどに過ぎず、林業事業体も存在し	有 新旧 対照表 No. 2 No. 3

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
			<p>ていないことから積極的に林業を営んでいくことは難しい状況であります。</p> <p>また、急峻地が多いことから地形的に林業に適している森林ではありません。</p> <p><u>このような森林においては、人の手が入らないことから倒木が多い傾向にあり、土砂災害を誘発します。</u></p> <p><u>そこで、</u>林業に適していない森林において、市による森林整備を行う理由として、一番に考えることを安全・防災としました。</p> <p>適切な森林整備を行うことで倒木や土砂災害のリスクが低減されるとともに、<u>結果として、森林に隣接する人里や畑作地周辺へのイノシシ</u>などによる獣害の軽減が見込まれ、安全・安心な森林へと誘導を図ります。</p> <p>また、燕市の山林を代表する国上山周辺には道の駅 SORAIRO 国上や五合庵などといった観光スポットが多数存在し、毎年多くの観光客が訪れる観光地にもなっています。</p> <p>5 ページ 3 基本方針</p>	

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
			<p>燕市の森林は648haありますが、そのうち246haは人工林となっており、そのほとんどがスギとなっています。</p> <p>スギは、生育が早く加工がしやすいことから林業に適した樹種ではありますが、木材としての価値を上げるためには枝打ち³や間伐⁴などを行い、適正な管理をしていく必要があります。</p> <p>燕市においては、林業事業体がおらず、また所有者の代替わりや高齢化によって、所有者自身での管理も難しいことから、今後も枝打ちや間伐といった管理が行われることに期待はできない状況で、<u>現時点で</u>燕市の山林において樹種がスギであることのメリットはあまりありません。</p> <p>そのため、<u>今後、当市にて森林整備をすすめるにあたり</u>整備の対象は人工林（スギ）とし、森林全体を針広混合林⁵化又は広葉樹林化を目指します。</p> <p>整備の対象をスギの人工林とし、針広混合林化又は広葉樹林化を図っていくことで、管理の手間がスギと比較してかからなくなっていくことや倒木のリスクの軽減、花粉症の発生源の抑制、景観の向上などと</p>	

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
			いった効果が見込まれます。	